

そもそも BSD がまい (ny)

はじめに

このページはたくさん？ある *BSD のうち、マイナーな *BSD の情報を自分のページです。という
か、自分用のメモ。

OSunC 2014 川越で発表した内容がもとになっています。

マイナーじゃない *BSD って？

次の 4 つです。

- ・ [NetBSD](#)
- ・ [FreeBSD](#)
- ・ [OpenBSD](#)
- ・ [DragonFly BSD](#)

DragonFly BSD はあまり国内では知られていませんが、たとえば、[EuroBSDCon](#) のページでも例として挙げられている中に含まれていますし、BSD Certification Group が行っている資格試験、BSD Associate 等でも試験範囲の OS になっていますので、メジャーとっていいと思っています。(というか、全俺がそう考えるからです w)

あと、このページでは、Darwin & OS X も除外しています。(OpenDarwin が無くなったあと、[PureDarwin](#) プロジェクトが後継プロジェクトとして活動していますが、停滞しているようです。)

4 つのメジャーな BSD + OS X については、FreeBSD プロジェクトが保守する [bsd-family-tree](#) という資料が一番有名でしょうか。

BSD がないんだけど

ここでとりあげているものは、Fork を宣言している(と思われる)ものです。たとえば、[FreeNAS](#) や [PC-BSD](#) は、ここではとりあげない、ということです。(これらは、FreeBSD をベースにしたディストリビューション、といえると思います。)

あと、活動がほとんど無くなったものは取り上げていません。(たとえば、[#198:rieBSD](#) なんか
それにあたります。)

マイナー BSD の特徴

ちょっと大げさですが、こんな感じ

- ・ Fork 元のあれこれの方針やイケてない現状にがまんならず、Fork
- ・ Fork 元からだいたいガン無視
- ・ (予定通りには) なかなか新しいリリースは出てこない

マイナー BSD 一覧 (?)

MirOS BSD - a wonderful operating system for a world of peace

<http://www.mirbsd.org/>

一般に MirBSD といわれます。2002 年に OpenBSD 3.1 から fork しました。始まりについては、[歴史のページ](#)が詳しいです。

特徴的なところは、スリムな base system として I18N も削除していること、いくつかの GNU ツールについて、かなり早くから、BSD ライセンスのオリジナルの UNIX のコードをベースにしているものに置き換えていることなどが挙げられます。

その他サブプロジェクトとして、いくつかのプロジェクトがあり、一番有名なものは、[mksh](#) という pdksh をベースにした ksh でしょうか。

パッケージシステムは他の BSD と同様、FreeBSD の ports システムをお手本とした、[MirPorts](#) があり、他の BSD への対応もあるのがおもしろいところです。使い方は、Fork 元の OpenBSD の ports システムと同じ感じです。

あと、NetBSD のパッケージシステム pkgsrc が公式対応しています。そちらを使ってもいいでしょう。

VCS は CVS を使っています。

ちょっと古いのですが、プロジェクトリーダーの方の、[BSD Talk でのインタビュー](#)があるので、興味のある方はどうぞ。

最新のはリリースは 2008 年に出た #10semel です。i386 と sparc があります。開発版の snapshot があるので、そちらを入れたほうがいいかもしれません。

Web サイトは頻繁に更新されているので、Web サイトをまめにみていけばよいと思います。

MidnightBSD - the BSD for everywhere

<http://www.midnightbsd.org/>

名前の意味がよくわからない、という印象が第一印象の BSD です。2005 年に FreeBSD 5.1 beta から Fork しました。始まりについては、[about のページ](#)が詳しいです。

名前についても、about のページに由来があって、SharkBSD、HammerHeadBSD など、53 個くらい案があって考えていて、結論として、飼猫の名前 Midnight からとったんだそうです。(公式ロゴの月にのっている黒猫君がそれだったんですね。)

特徴は、初心者でも BSD の経験者でも使いやすいデスクトップの BSD をめざしていることです。OS の新機能は、FreeBSD・DragonFly BSD から主に取り込まれています。(ZFS も使えるようです。)

パッケージシステムは、FreeBSD の ports システムをお手本とした、mports というシステムがあります。

VCS は、CVS を使っています。ただし、mports は Subversion になりました。

プロジェクトリーダーの方のインタビューが、BSD Show というポッドキャストであったのですが、BSD Show 自体、サイトが無くなってしまいましたので、聴くことができなくなってしまいました。(ちなみに、リーダーの方の奥様と一緒にプロジェクトはやっているみたいです。ポッドキャストでも出て見えました。)

最新は、0.4-RELEASE-p13 です。FreeBSD と名前のつけかたは同じみたいです。i386 と amd64 があります。

Web サイトの更新はあまりありません。公式 blog も更新が滞っています。一番確実なのは公式 twitter [@midnightbsd](https://twitter.com/midnightbsd) をみていることです。

bitrig - free, fast, and secure Unix-like Open Source operating system

<http://www.bitrig.org/>

今、一番アツイマイナー BSD だと思います。2012 年に OpenBSD より Fork しました。名前に "BSD" がつかない珍しい BSD です。

特徴は、(OpenBSD と比べ) ちいさな base system をめざしていること、現代的なアーキテクチャ(具体的には i386 と amd64 と arm)のみをサポートすること、コンパイラを LLVM とすること、仮想化(具体的には KVM)と journaling(具体的には NetBSD の WAPBL の移植)への対応をすること、です。

これらのうち、仮想化以外については、完了しています。これらのほかにも精力的に開発が続いています。

パッケージシステムは他の BSD と同様、FreeBSD の ports システムをお手本とした、bitris-ports があります。使い方は、Fork 元の OpenBSD の ports システムと同じようです。

VCS は早々に Git に移行しています。[Github](https://github.com) 上で開発が行われています。

まだリリース版がありません。ただし、snapshot があり、OpenBSD と同じ感じの sets があり、インストールできます。

Web サイトは頻繁に更新されています。また、twitter [@bitrig](https://twitter.com/bitrig) があり、これをみてもいいでしょう。

EdgeBSD

<https://www.edgebsd.org/>

一番新しいマイナー BSD で、一番よくわかりません。2013 年に NetBSD から Fork しました。(NetBSD.fr の中のひとぼいです。)

特徴的なのは、NetBSD をより開発しやすくしていこうとするものであるといえると思います。もっと言うと、NetBSD プロジェクトとともに歩んでいきたいという姿勢があることです。具体的には、[FrOSCon 2013 の発表資料](#)を見るといいでしょう。また、NetBSD の何をイケてないとしているかは、[AsiaBSDCon 2014 の発表資料](#)を見るといいでしょう。

どちらかという、デスクトップにフォーカスしているような印象をうけます。(下にある Podcast でも、そんな話がでてきます。)

パッケージシステムは NetBSD の pkgsrc をほぼそのままとりこんだものの edgebsd-pkgsrc があります。(ただし、実際に使えるかは未知数です。)

VCS は早々に Git に移行しています。(ただし、master ブランチの commit が止まっているので、要注意です。)

プロジェクトリーダーのインタビューが [BSD Now](#) にあるので、興味のある方はどうぞ。(18:36 あたりから。)

まだリリース版がありません。リリース版が出るかどうかもわかりません。(そういう意味は Fork したとっていいかどうかもわかりませんね。)

Web サイトの更新はあまりありません。twitter [@EdgeBSD](#) もありますが、ぜんぜんつぶやかれません。

JabirOS

<http://jabirproject.org/>

一番新しいマイナー BSD です。2013 年に FreeBSD から Fork したようです。(2.0.0 は FreeBSD 10 から Fork しているようです。)

もともとは、Ubuntu をベースとしたディストリビューションだったようです。しかし、[2013 年に FreeBSD をベースにすることを決め](#)、現在にいたっています。

FreeBSD ベースのディストリビューション、といわれることが多いせいか、2014 年 5 月出た 2.0.0 のリリースアナウンスにも、「[JabirOS isn't a FreeBSD distribution anymore.](#)」と記載されています。([mycon の記事](#) も誤解していると思います。) もっとも、Fork した理由は全くサイトには書かれておらず、よくわかりません。

[本の虫の記事](#)では、デスクトップにフォーカスしているという記述がありますが、現在の Web サイトは 1.0.0 が出たあと作り直されているようで、現在のサイトにはそのような記述はありません。(ただし、sourceforge.net の方には、それらしい記述があります。)

パッケージシステムは FreeBSD の ports をそのままつかっているようです。

VCS の公開はいまのところありません。(そういう意味は Fork したのではなく、FreeBSD ベースのなにか、という見方も当然だと思えます。ただ、らっぱいのインストールイメージを公開した

ときに、「ソースはまもなく Github で」と案内に書いていたので、出すつもりなのだと思います。たしかに、それっぽいものは見つかります。)

リリース版は 2.0.0 が出ていますが、FreeBSD との違いがぜんぜんわかりません。(そういう意味は Fork(略)。)

Web サイトの更新は時々あります。twitter [@JabirTech](#) もときどきつぶやかれているので、どちらも見ているといいと思います。

RetroBSD - Unix for microcontrollers

<http://retrobsd.org/>

PIC32 マイコンで動く BSD です。2011 年に 2.11BSD を移植するところから始まったみたいです。

VCS は Git です。[Github](#) 上で開発が行われています。

リリース版はありません。リリース版が出るかどうかわかりません。

たけおかさんという方が試してみたのを blog に書いてみえるので、まずはこれを見るといいと思います。日本 NetBSD ユーザーグループの [BoF](#) での発表資料もあります。

Web サイトの更新は普通にあります。Web サイトみてるといいと思います。